

利益

- アイデンティティの数だけの利益
- 客観的利益
 - 客観的に見てその人が持っていると考えられる利益
 - 外部から理解
 - 政治家の利益…再選
 - 官僚の利益…予算最大化（二スカネン）、出世
- 主観的利益
 - 当該人が重要だと考える利益
 - アクターの選好は先験的な形で理解できない
 - 社会や文化・規範との関連
 - 具体的な個々人に注目
 - 利益や選好は社会や文化の中で他人の行動や偶発的な歴史的事件に影響されながら歴史的に形成されていく
- 現実を単純化、モデルとして記述

公共政策に誰の利益が反映されるのか

社会に注目：集団理論、エリート主義、多元主義
政治家や官僚に注目：国家論
両者に注目：ネットワーク論

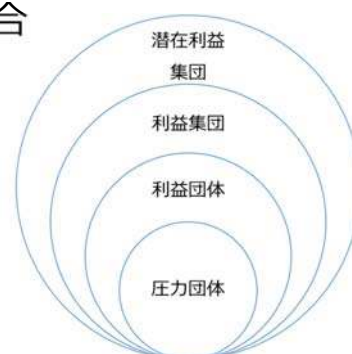
- エリート主義
影響力を持ち得るのは極めて少数
- 多元主義
争点ごとに異なる少数のアクターが影響力を行使
- 集団理論
様々な社会集団が参加、圧力の合成としての政策
- 国家論
アクターとして政治家や官僚に注目
 - ①政治家・官僚の利益配分
 - ②政治家の利益のために民営化
 - ③官僚の利益のために民営化

アクターの多元性

- ダール “Who governs?”
- 農業社会→工業社会→脱工業化社会 社会が多元化
- 農業社会
 - 不平等が蓄積的…経済的、社会的、政治的資源同一人に
- **工業** 社会
 - 影響力資源は社会に広く分散
- → **政治過程** はより複雑に
- 政策により参加者異なる
- 諸少数者の支配… **多元的** 民主主義
- ニューヘイブン市 政策分野ごとに影響力行使者異なる


集団理論

- ベントレー『統治過程論』
 - 政治 = 社会に存在する様々な利益集団の対立と調整の過程
 - 「**集団**」が十分に解明されれば、すべてのことが解明される」
 - **利益集団** の活動を分析の中心に据えた政治過程論の展開
 - → トルーマン『統治過程論』
 - 政治過程論はまず利益集団に焦点を当てた集団理論として登場
- **利益集団** = 政治に関心を持つすべての集団
- **利益** 団体（組織化された利益集団）…人々が職業的ないし生活的な利益をもとに組織化されるとき
- **圧力** 団体…利益団体が自らの利益を守ったり、推進するために議会や政府に働きかけを行う場合



合理モデルと対抗モデル

• 合理モデル

- 個人の意思決定
 - 課題の設定
 - 選択肢の探求
 - 結果の予測
 - 結果の評価
 - 選択
- すべての選択肢を一挙に洗い出し
- 選択肢による結果を確実に推測
- 決められた評価基準に基づき未発生の結果を完全に予測
-  **規範** モデル

• 対抗モデル

- **満足化** モデル
 - 限定合理性の概念
 - サイモン
- **漸増主義** モデル
 - インクリメンタリズム
 - リンドブロム

• アリソン・モデル

- 合理的行為者モデル
- 組織過程モデル
- 政府内政治モデル

満足化モデル

• H.サイモン

• 特徴

- 1 **逐次的な探究**
- 2 満足水準
 - 水準に達した選択肢の発見
 - → 選択肢の探求は停止
- 3 **可変的な** 要求水準
 - 時間的制約
 - × 意思決定放棄 ○ 水準引下げ
- 4 組織が **決定前提** を与える
 - ① 事実前提
 - 記述的な情報
 - 因果的な情報
 - ② 価値前提
 - いかなる目標をもつべきかを示す
 - 属する組織の価値観

多元的アクターと政治過程

- 多元的アクターが政治過程の実質をつくる
- その結果は？



- 多元的な利益を相互調整していく政策過程

インクリメンタリズム

アリソンの第3モデル

漸増主義モデル

delta

- インクリメンタリズム Δ
- 人は現状を少し変えれば何が起こるのかに関心を集中
- **既存の政策**をまず前提にそれとは少し違う選択肢を検討
- **思考の手抜き**？

手順

- ①わずかな変化の重視
 - 現状をベースとして差分を検討
- ②目的と手段の連動
 - 両者を一体化して選択したり、政策を目的に適合させたり
- ③分析対象の限定
 - 範囲を限定して分析
- ④連続的な決定
 - 限定的に設定した問題を補正的に改善

合理モデルは考えられる選択肢全てを列举して選択を行う。＝白紙から
 漸増主義モデルでは既存の政策で出発し、それとは少し違う選択肢を検討する。＝現状から

予算編成過程における インクリメンタリズム

- 予算編成の政治過程
- **キャンベル** の分析
 - 予算編成過程においては
 - 過去の決定の殆どすべてを所与として
 - 限界的な変化だけに注意を集中する

marginal changes

白紙からはコストがかかる

アリソンモデル

- グレハム・アリソンが1971年に呈示
- **キューバミサイル** を分析
 - 1962年10月16日から28日
 - ケネディ政権vsフルシチョフ政権
 - 『13 Days』で映画化
- アリソン
 - 1940年生まれ、68年博士号取得、ハーバード助教、70年准教授、72年教授（32歳）

第1モデル

- 合理的行為者モデル

第2モデル

- **組織過程** モデル

第3モデル

- 組織内（政府内）政治モデル

合理的行為者モデル

- 組織をあたかも1人の人間であるかのように **単一の行為者** とみなす
- 組織は、課題の設定→選択肢の探求→ **結果の予測** →結果の評価→選択という手順を踏む
- 個人のモデルと組織のモデル。現実的に近い
- 日本の例
 - 内閣総理大臣による決定
 - 各省大臣は補助
 - 目的が内閣総理大臣1人によって決定されているという前提。
 - But
 - **分担管理** 原則
 - 組織固有のダイナミズム

総理の一元的統治とは言えない

合理的行為者モデルは現実から遠い

下位組織が独立的に任務を遂行している

組織過程モデル

得的の刺激に特定の反応をする

- 組織の決定 = ルールの適用の結果
 - **標準** 業務手順 : **SOP** (Standard Operating Procedure)
 - 選択肢はレパートリーとして細かく決められている
- **下位組織** の行動の特徴
 - 下位組織 はあらかじめ定められた手順に従う
 - 下位組織の行動は **受動的**
- 組織…外部からの刺激に対して決められた反応をする下位組織の緩やかな連合体
- 下位組織の行動の形態
 - ① **過去の決定** を繰り返す傾向
 - レパートリー** は固定
 - ②相互に **矛盾** する2つ以上の決定を同時にすることも
独自のレパートリー
 - ③重複する決定をすることも
ある
- 具体例
 - それぞれの下位組織は独自のレパートリーを持つ。下位組織が複数同時に反応することも。

農林水産省、厚生労働省がそれぞれ労働案内所を開くなど

組織内（政府内）政治モデル

- 組織 = 「**役職についている人間、公職者の集合**」
 - 組織の決定…**役職者**の間で展開される駆け引きの結果
 - **役職者**の行動の特徴
 - ① 役職者はその地位に由来する目標を最大限に実現することを自己利益と考える
 - ② 役職者は**自己利益**を実現する機会を探し求めている。進んで外部に働きかけ
 - ③ その際、もてる政治的リソース（公式権限、知識、情報、カリスマ性）を動員する。
- キューバの例
米側33人、ソ連側19人
- ① マクナマラ国防長官 何もしない
 - ② バンディ大統領特別補佐官 外交努力
 - ③ R・ケネディ司法長官 海上封鎖
 - ④ ラスク国務長官 空爆
 - ⑤ アチソン元国務長官 空爆
 - ⑥ 統合参謀本部 侵攻
- 自己利益を追求する、あんど追求する機会を積極的に探し出す、その際自分の持っているリソースを全て使う。

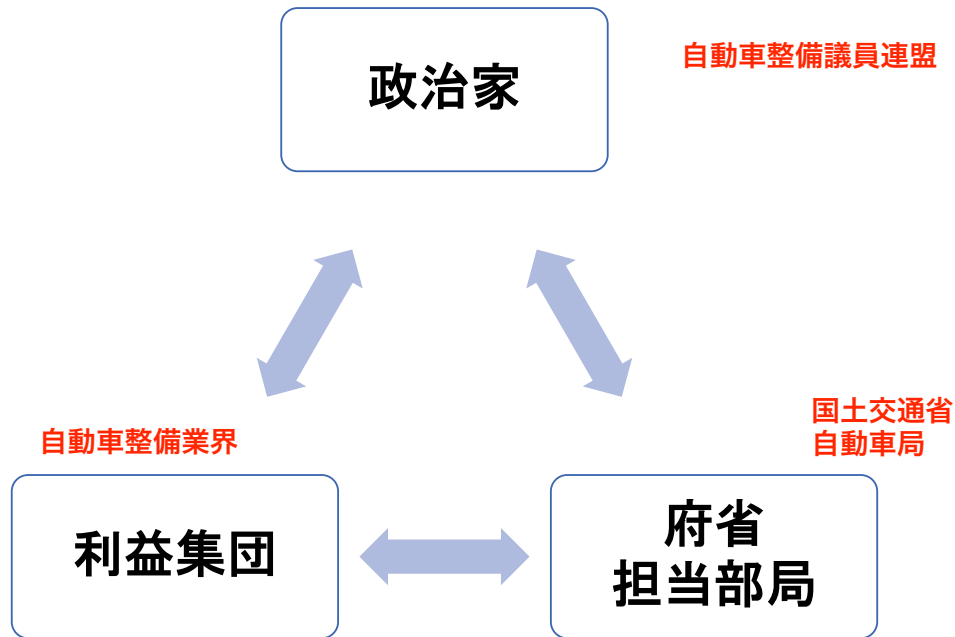
森首相の政策決定。

費用と便益の集中、拡散

		費用負担	
		拡散	集中
便益獲得	拡散	① 費用拡散、便益拡散	② 費用集中、便益拡散
	集中	③ 費用拡散、便益集中	④ 費用集中、便益集中

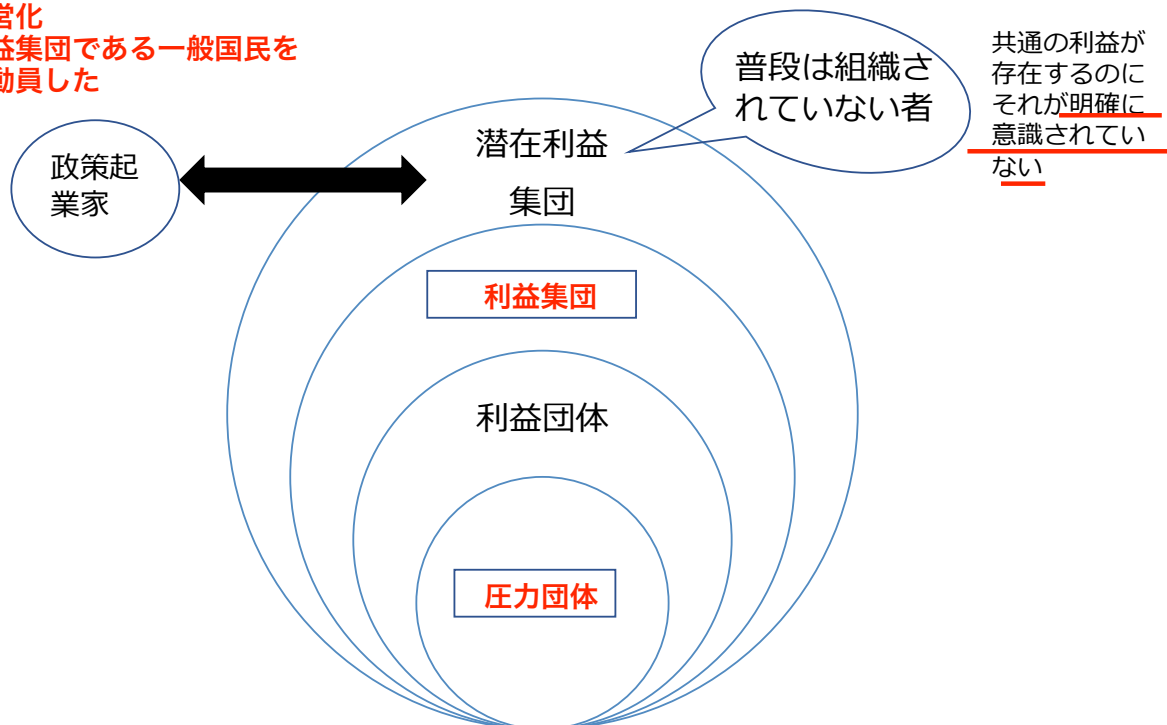
- 公共政策を行うための費用負担は誰か
少数か大勢か
- 公共政策が実施されて便益を獲得するのは誰か
少数か大勢か
- 大勢（拡散）
→ **フリーライダー**の発生
- ②…費用集中負担の集団が**費用集中負担**の運動
- ③…便益集中獲得の集団が**便益集中獲得**

鉄の三角同盟



利益集団、利益団体、圧力団体

郵政民営化
潜在利益集団である一般国民を
小泉は動員した



集合行為問題

- 伝統的な見方
複数の人間に共通利益
→利益実現のために協力
… **利益集団** は自動的に利益団体になる
- オルソン：集合行為論
複数の人間に共通利益→利益実現のために協力はしない
…利益集団は自動的に利益団体になるわけではない
∴ **フリーライダー** になろうとする
- 集合行為問題…利益集団の規模が **小さい** と発生しにくい
- 規模が大きい利益団体は何故存在するのか？
 - ① 強制
 - クローズドショップ
 - ② **選択的誘引**
 - 団体加入者のみに配分される利益を用意

退出と発言

- ハーシュマン『離脱・発言・忠誠』
 - 集団や組織において **不満** を持つ場合の解決方法
 - ①発言
 - ② **退出**
 - ②ではなく①を選ぶのは
 1. 退出の容易さの程度
 2. 集団に対する忠誠の程度
- ティボー
 - **足による投票**
 - 自治体間の移動/ 国を超えた移動
 - ピーターソン
「都市の限界」"City Limits"
「**地方分権**」により、地方政府による **再分配** 政策実施は困難になる」
 - **福祉の磁石** welfare magnet

福祉を拡充すればするほど低所得者が増え、高所得者が離れる